

GLORY

GLORY REPORT

グロリーレポート

トップメッセージ

『2014中期経営計画』の最終年度として
目標達成に向けて全力で取り組んでまいります

p06

製品トピックス

伝票作成はタッチパネルの“簡単スタイル”で
～電子記帳台を発売～

p07

特集

パチンコホールで活躍するグローリー製品

Contents

GLORY Highlights	01	トップメッセージ	02	製品トピックス	06
特集	07	財務データ	09	会社情報	10
株主メモ					

第68期
報告書

平成25年4月1日から
平成26年3月31日まで

グローリー株式会社

GLORY Highlights

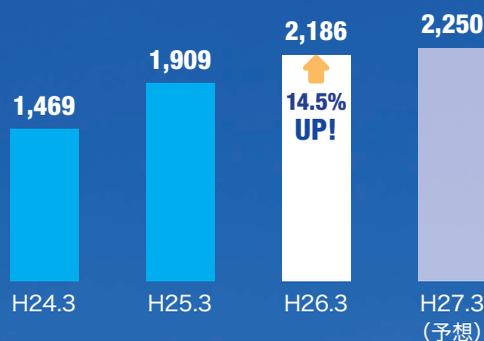
売上高、利益ともに増加

売上高 **2,186** 億円

営業利益 **167** 億円

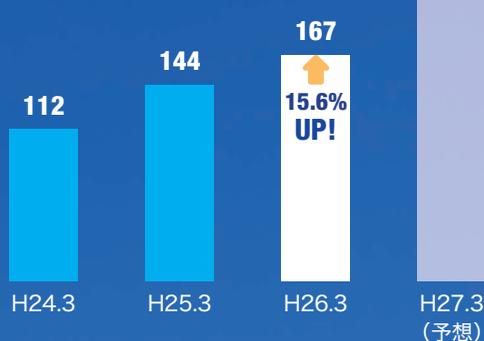
売上高

(単位: 億円)



営業利益

(単位: 億円)



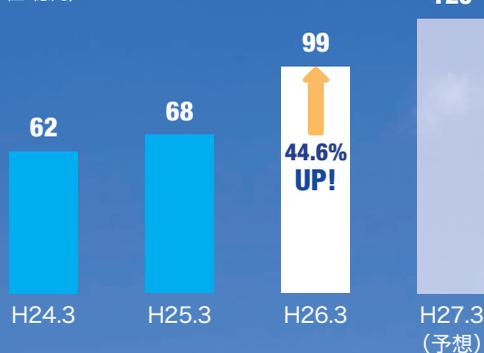
経常利益

(単位: 億円)



当期純利益

(単位: 億円)



ROE



海外売上高比率



※本ページに記載の数値は、いずれも連結ベースです。



『2014中期経営計画』の
最終年度として
目標達成に向けて全力で
取り組んでまいります

代表取締役社長

尾 上 宏 和

平成26年3月期の事業概況と業績について

国内は金融市場、流通・交通市場の販売が増加
海外は買収効果もあり好調で、4期連続の増収増益を達成

当期の日本経済は、政府の経済政策を背景に円安や株価上昇が進み、企業収益や個人消費に改善の動きが見られるなど、景気は緩やかな回復基調となりました。一方、世界経済につきましては、欧州で回復の兆しが見られ始めたものの、中国を始めとした新興国では減速傾向となるなど、全体としては不透明な状況で推移いたしました。

こうした状況のなか、当社グループは、『2014中期経営計画』の2年目として各戦略を強力に展開し、4期連続の増収増益を達成いたしました。

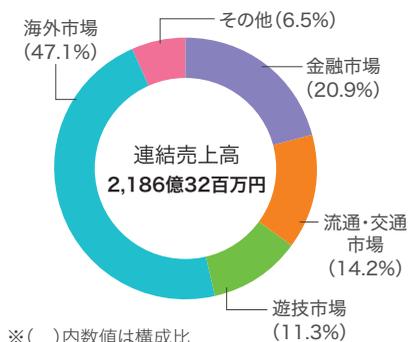
セグメント別にみますと、国内の金融市場では、主要製品である「オープン出納システム」の従来タイプは低調でありましたが、中小規模店舗向けのコンパクトタイプは、未導入市場への積極的な営業活動が新規受注につながり、順調に販売を伸ばしました。また、窓口用「紙幣硬貨入出金機」の販売も、更新需要を捉えて増加いたしました。

流通・交通市場では、主要製品である「レジつり銭機」の販売は、大口受注の減少により低調でありましたが、「紙幣両替機」や警備輸送市場向け製品の販売は、更新需要を獲得して拡大いたしました。

遊技市場では、「カードシステム」等の販売は市場競争の激化などにより低調でありました。

海外市場では、タラリスグループの販売が通期にわたり加わったうえに円安効果もあり、前期に比べ大幅に増加いたしました。製品別にみますと、「紙幣入出金機」が欧州では低調で

セグメント別売上高



※()内数値は構成比

	平成25年3月期(前期)	平成26年3月期(当期)	前期比
金融市場	446億79百万円	456億54百万円	+ 2.2%
流通・交通市場	296億70百万円	310億 7百万円	+ 4.5%
遊技市場	258億45百万円	248億11百万円	- 4.0%
海外市場	756億88百万円	1,030億 2百万円	+ 36.1%
その他	150億55百万円	141億56百万円	- 6.0%
合計	1,909億38百万円	2,186億32百万円	+14.5%

あったものの、米州では継続的な提案営業により大口受注を獲得して好調でありました。また、「紙幣整理機」が、中国を始めとする新興国で紙幣の正損選別に対するニーズを捉え、大きく伸びました。

『2014中期経営計画』の進捗について

海外事業の統合は順調

3つの基本戦略を着実に実行し、総仕上げへ

2014中期経営計画



基本方針

- 長期ビジョン達成に向けた成長戦略推進と収益力強化
- 営業利益率10%以上
(平成27年3月期)

基本戦略

事業戦略

- 国内事業戦略
- 海外事業戦略
- 新事業戦略

機能戦略

- 製品開発戦略
- 生産・調達戦略
- 品質保証戦略

企業戦略

- グループ体制戦略
- 人事戦略
- 資本・財務戦略

平成24年4月からスタートした『2014中期経営計画』もいよいよ最終年度を迎え、少しずつ実を結び始めた成果をさらに確実なものにすべく、総仕上げに入っております。

まず、「事業戦略」では、国内事業において、既存市場の深掘りと未導入市場の攻略を重点に展開しており、積極的な新製品の市場投入も行っております。例えば金融市場では、重点分野の一つである“非現金分野”の新製品「電子記帳台」(6頁ご参照)の販売を開始いたしました。流通・交通市場では、新型「レジつり銭機」を投入し、飲食店や専門店等まだ導入が進んでいない業態に対しても、強力に展開しております。また、遊技市場では、クラウド・コンピューティングを利用した新製品「ホールトータルシステム」(7頁ご参照)をリリースいたしました。

グローリーグループの直販・代理店網



一方、海外事業においては、買収したタラリスグループとの販売拠点の統合や組織体制の整備等がほぼ完了いたしました。拡大した販売網を武器に海外売上高比率がさらに拡大するなど、シナジーの現れに手応えを感じております。引き続き“One GLORY”をスローガンに、グループを挙げてシナジーの最大化に邁進してまいります。

また、「機能戦略」では、グローバル市場における競争力や利益体質の強化に向け、様々な施策を展開しております。例えば開発面では、コア技術の強化や技術のプラットフォーム化を推進中です。また、タラリスグループとの拠点統合や開発テーマ統一が概ね完了いたしましたので、それぞれの技術を融合した新製品を生み出すべく、より注力してまいります。一方、生産面では、マザー工場の機能強化、海外生産・調達の拡大、生産拠点の最適化等を推し進め、グローバル生産体制の強化や、世界で戦えるコスト競争力の強化に取り組んでまいります。

「企業戦略」につきましては、「事業戦略」、「機能戦略」を支える強固な経営基盤を確立すべく、各施策に取り組んでおります。資本効率の向上はもちろんのこと、買収により大きく拡大したグループ全体に企業理念・経営理念を浸透・徹底させ、グループガバナンス体制を強化するとともに、今後のグローバル展開を見据えた人材育成や多様な人材が能力を発揮できる人事制度の確立など、経営体質の強化に取り組んでまいります。

長期ビジョン2018

長期基本方針

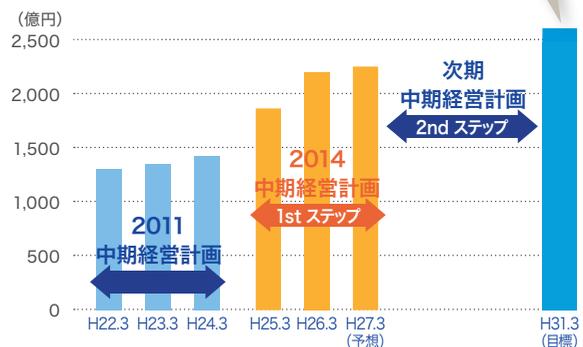
「モノづくり」の技術で
新たな価値を創造し、
夢へ挑戦する

CSR活動を通じて、
社会とともに継続的な
企業成長を図る

長期業績目標

連結売上高 **2,600億円**
連結営業利益率 **12%**

連結売上高



平成27年3月期の業績見通しについて

売上高のさらなる増加と営業利益率の向上に注力

次期の日本経済につきましては、企業収益や雇用情勢の改善等を背景に、景気の回復基調は続くものと予想されます。一方、海外につきましては、米国での金融緩和の縮小、欧州の経済情勢不安、中国を始めとする新興国における経済成長の陰りなどが懸念されるものの、全体としては緩やかな回復傾向にあると思われま

す。こうした状況のなか、当社グループは、国内外の各市場において、前述の各戦略を着実に実行し、売上の拡大のみならず利益体質の強化を図ってまいります。平成27年3月期の連結業績は、売上高2,250億円、営業利益225億円、経常利益220億円、当期純利益120億円を予想しております。

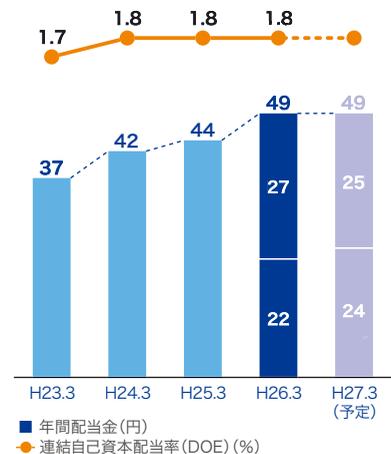
配当について

当期の配当は、前期比5円増の1株当たり49円

当社は、連結自己資本配当率1.8%を下限、連結配当性向25%以上を目標とした配当を実施することを基本方針としており、当期の期末配当は、期初予想の22円に5円を加え、1株当たり27円とさせていただきます。これにより、中間配当の22円を加えた年間配当は、前期比5円増の49円となりました。

次期の配当につきましても、1株につき49円（中間配当金24円、期末配当金25円）とさせていただきます予定です。

配当金の推移



『2014中期経営計画』も残すところ9ヶ月となりましたが、当社グループは、平成27年3月期には各戦略の総仕上げに入るとともに、『長期ビジョン2018』の実現に向けた第2ステップとなる新・中期経営計画の立案にも着手してまいります。平成30(2018)年に迎える創業100周年に向け、グローバル市場における競争力を強化し、より強固で筋肉質な経営体質を実現するために、グループ一丸となって取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

伝票作成はタッチパネルの “簡単スタイル”で

～「電子記帳台」を発売～

金融機関で預金や振込をする時、来店したお客さまは記帳台で伝票に必要な事項を記入しますが、このとき間違いや記入漏れがあると、書き直す手間がかかります。また、伝票に印刷されている文字や記入枠は小さく、記入しづらいときがあります。

このような課題に対応するため、当社は、平成25年12月、タッチパネルを使って伝票の作成ができる「電子記帳台」を発売。利用者と金融機関の双方にうれしい“簡単スタイル”を実現しました。



電子記帳台の特長

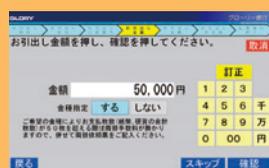
タッチパネルで簡単入力

大きな文字と見やすい配色のタッチパネルで、簡単に入力できます。

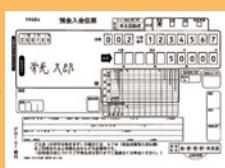
伝票作成時間を短縮

口座番号等のお客さま情報は、キャッシュカードや通帳を読み取り自動入力。効率的な伝票作成が可能です。

ガイダンスで入力をサポート



入力
完了後に
自動印刷



窓口へ

ガイダンスに従って、金額等の必要項目を入力していくと、記入漏れのない伝票が完成します。

窓口業務を効率化

窓口担当者は、伝票をスキャナーで読み取り、システムに入力しますが、電子記帳台で作成した伝票は手書き伝票よりも文字認識率はるかに高いため、手入力の手間が減り、業務効率がアップします。

担当者の声



国内事業本部 金融営業統括部
DP営業推進部 販売支援1グループ

石田 康人

本製品は、「伝票を記入するお客さまのご不便を解消したい」という金融機関のご要望から生まれました。開発においては、全てのお客さまに簡単に使っていただけるよう、シンプルな操作性を追求し、タッチパネルで入力する“簡単スタイル”を実現しました。導入いただいた金融機関からは、「お客さまから伝票記入に関する質問を受けることが減った」「一度使った方は次の機会にも利用されている」という嬉しい声をいただいております。金融機関で“電子記帳台”を見かけたときは、ぜひご利用ください。

パチンコホールで活躍する グローリー製品

グローリーが遊技市場に参入したのは昭和42年。最初の製品は、100円硬貨を入れるとパチンコ玉が出てくるシンプルな玉貸機でした。以来、通貨処理機で培った認識・識別技術、メカトロ技術を活かして次々と製品を開発。現在では、台間玉貸機から、紙幣搬送システム、会員管理システムまでそのラインナップを拡げ、効率的なパチンコホール運営を支えています。



遊技製品 1号機
(玉貸機)

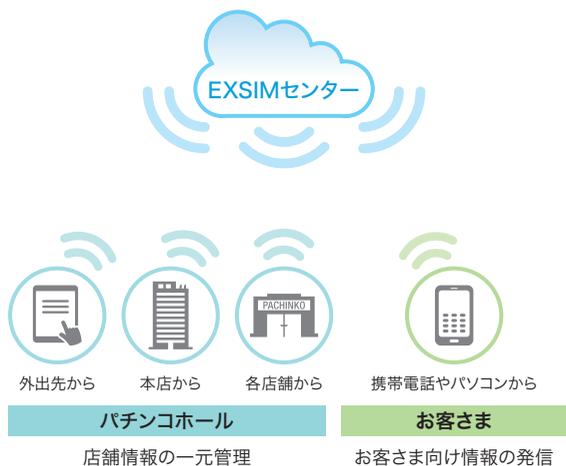
ホールトータルシステム

店舗の売上、遊技台の稼働状況、賞品在庫、会員の情報など、パチンコホール内の様々な情報をトータルに管理するシステムです。

平成25年8月には、クラウド・コンピューティングを活用した新システム、「EXSIM(エクシム)」が誕生。これにより、インターネットを介して、いつでもどこでもシステムのご利用が可能となりました。



EXSIM利用イメージ



お客様の流れ

● プレイする

① 台間玉貸機 (CRユニット) 台間メダル貸機

パチンコ玉やメダルを貸し出す製品。遊技台と遊技台の間に設置され、投入された金額に応じてパチンコ玉やメダルを払い出します。また、プレイで獲得したパチンコ玉・メダルを遊技台ごとに計数する“各台計数機能”付きタイプもあります。



台間玉貸機 台間メダル貸機
(各台計数機能付き)

● 計数する

② 玉計数機 メダル計数機

獲得したパチンコ玉やメダルをすばやく計数し、数量をバーコード印字したレシートを発行します。



玉計数機

メダル計数機



バックオフィス

Parlor GLORY

カウンター

フロア

内部図

金庫

搬送路

紙幣搬送システム

台間玉貸機や台間メダル貸機に投入された紙幣を、内部の搬送路を経由して端にある金庫まで自動搬送。紙幣の回収作業を効率化します。

● 賞品に交換する

3 賞品管理ターミナル

パチンコ玉やメダルと賞品の交換受付に使用する端末機。②で発行されたレシートのバーコードを読み取るので、受付は簡単・スムーズです。



4 賞品保管機

③に連動して賞品を投出する製品。保管中の賞品を自動計数するなど、様々な管理機能を搭載しています。



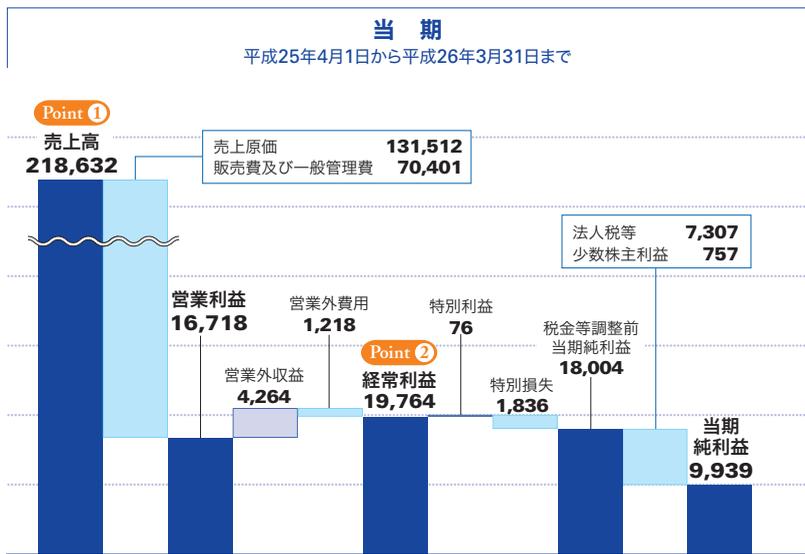
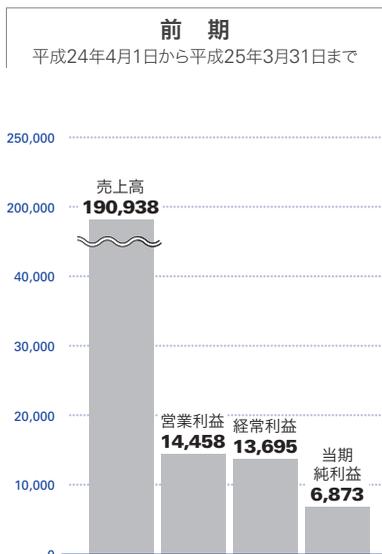
● 精算する

5 精算機

プレイ後、残額がある場合、精算に使用する製品です。



連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)



Point

① 売上高

買収したタリスグループの売上が通期にわたり加わったうえ、円安の影響等により海外市場の売上が大きく増加し、国内の金融市場、流通・交通市場の売上も増加したことから、前期に比べ14.5%増加しました。

② 経常利益

売上高の増加や売上原価率の改善により営業利益が増加したことに加え、為替差益も発生し、前期に比べ44.3%増と大幅に増加しました。

③ 固定資産

タリス社買収に伴う「のれん」等が円安の影響により増加したため、無形固定資産が前期に比べ121億88百万円増加しました。

④ 負債

タリス社買収に伴う借入金の返済を進めた結果、前期に比べ短期借入金が51億59百万円、長期借入金が57億60百万円減少しました。

⑤ 純資産

円安による為替換算調整勘定の増加等により、前期に比べ223億40百万円増加しました。

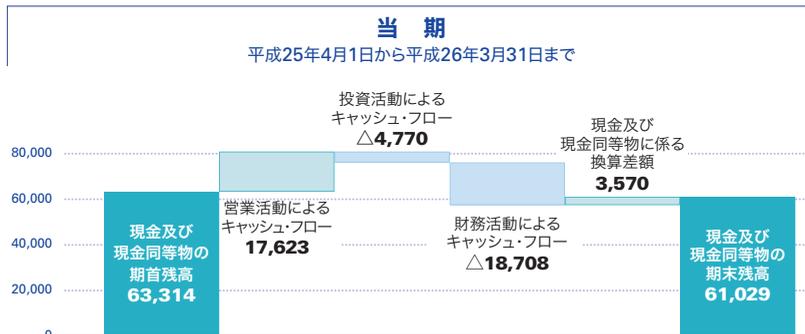
⑥ 連結キャッシュ・フロー計算書

現金及び現金同等物の当期末残高は、借入金の返済等により前期末と比べて22億85百万円減少し、610億29百万円となりました。

連結貸借対照表の概要 (単位: 百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位: 百万円)



会社概要

商号	グローリー株式会社 GLORY LTD.
設立	昭和19年(1944年)11月27日
資本金	12,892,947,600円
ウェブサイト	http://www.glory.co.jp
従業員数	3,349名(連結 7,833名) (平成26年3月31日現在)
本社	〒670-8567 兵庫県姫路市下手野一丁目3番1号 TEL : 079 (297) 3131 (代表)
事業所	本社・本社工場 (兵庫県姫路市) 東京本部 (東京都千代田区) 品川事業所 (東京都品川区) 埼玉工場 (埼玉県加須市) 支店等 東北支店(宮城県)、東日本支店(埼玉県)、 首都圏支店(東京都)、東海支店(愛知県)、 近畿支店(大阪府)、中四国支店(広島県)、 九州支店(福岡県) 姫路物流センター、姫路パーツセンター 41営業所、29出張所、4サービスセンター

連結子会社

【国内】

- グローリープロダクツ株式会社
- グローリーAZシステム株式会社
- グローリーサービス株式会社
- 北海道グローリー株式会社
- グローリーIST株式会社
- グローリーナスカ株式会社
- 株式会社グローリーテクノ24

【海外】

- 光栄電子工業(蘇州)有限公司
- Sitrade Italia S.p.A.
- Glory Global Solutions Ltd.
- Glory Global Solutions (International) Ltd.
- Glory Global Solutions (France) S.A.S.
- Glory Global Solutions Inc.
- Glory Global Solutions (Singapore) Pte. Ltd.
- Glory Global Solutions (Shanghai) Co., Ltd.

他24社

当社グループの主な拠点



役員一覧

取締役

代表取締役社長	尾上 広和
取締役	山口 義行
取締役	三和 元純
取締役	吉岡 徹
取締役	尾上 英雄
取締役	馬淵 成俊
取締役	小谷 要
社外取締役	佐々木 宏
社外取締役	新島 昭

監査役

常勤監査役	中塚 良幸
常勤監査役	大谷 俊彦
社外監査役	竹田 佑一
社外監査役	中上 幹雄

株式の状況 (平成26年3月31日現在)

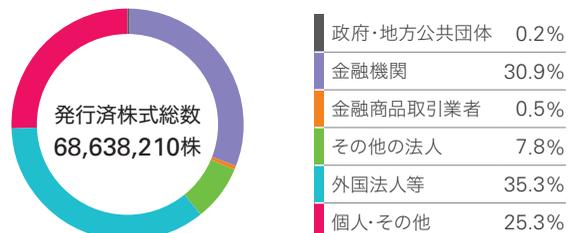
発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式の総数	68,638,210株 (自己株式 2,951,091株を含む)
株主数	7,638名(前期比 275名増)

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	3,584	5.2
日本生命保険相互会社	3,427	5.0
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE 15PCT TREATY ACCOUNT	2,430	3.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,143	3.1
株式会社三井住友銀行	2,100	3.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,050	3.0
グローリーグループ社員持株会	1,927	2.8
JP MORGAN CHASE BANK 385174	1,662	2.4
タツボーファッション株式会社	1,500	2.2
グローリー取引先持株会	1,048	1.5

(注) 上記のほか、当社が所有している自己株式2,951,091株があります。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月に開催いたします。

基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
その他必要があるときは、
あらかじめ公告して定めます。

単元株式数 100株

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部

証券コード 6457

公告方法 電子公告によります。ただし、事故
その他やむを得ない事由によって
電子公告による公告をすることが
できない場合は、日本経済新聞に
掲載して行います。
[公告掲載URL]
<http://www.glory.co.jp>

株主名簿管理人／
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

[各種お問合せ先／
郵便物送付先] 三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL：0120-094-777(通話料無料)
受付時間 9：00～17：00
(土、日、祝祭日、年末年始を除く)
[ウェブサイトアドレス] <http://www.tr.mufig.jp/daikou/>

(ご注意)

1. 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、
口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。
口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人
(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いきませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱
UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座
管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託
銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいた
します。

株主さま
向け

埼玉工場見学会を開催いたします！

このたび、株主のみなさまを対象に、埼玉工場の見学会を開催
いたします。

詳細につきましては、以下及び同封のがきに記載しておりますの
で、ご確認のうえ、ぜひご応募ください。

開催場所 グローリー株式会社 埼玉工場
(埼玉県加須市古川二丁目4番地1)

集合/解散場所 現地(埼玉工場) または 栗橋駅 [JR宇都宮線(東北本線)
東武鉄道(日光線)]

対象 平成26年3月31日現在の当社株主名簿に記載の株主さま
定員 各回 50名様
参加費 無料

- 栗橋駅から現地までは、専用バスで送迎いたします。
- 現地までお車でお越しの方は、駐車場がございますのでご利用ください。
- 集合/解散場所までの往復の交通費は、株主さまのご負担とさせていただきます。
- 応募者多数の場合は抽選となります。抽選結果につきましては、
9月上旬に応募者全員に郵送にてお知らせいたします。



埼玉工場

ヒト型ロボット
「NEXTAGE」を
活用した組立ライン

平成26年 10月 17日(金) 18日(土)

開催日時 午後 午前 or 午後

応募締切日

平成26年7月31日(木)必着

お問合せ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 株主さまサポートセンター

株主さま向け工場見学会 専用ダイヤル **0120-313-282** (通話料無料)

土日、祝祭日を除く平日 9:00～17:00



地球環境保護のためにFSC認証紙と大豆油インキを使用しています。